

2024年  
3月4日 No.1738



# 週刊 教育資料

EDUCATIONAL PUBLIC OPINION <http://www.kyoiku-shiryō.co.jp>



潮流

## ICTで日本語指導のサポート

SUN株式会社代表取締役社長兼CEO 仲宗根俊平  
同社Connect事業本部 佐藤美和 (上)

資料

## 「都立新国際高校(仮称)開校に向けた 専門家会議」議論のとりまとめ

——都立新国際高校(仮称)開校に  
向けた専門家会議

### CONTENTS

#### ▶ 2 潮流

##### ICTで日本語指導のサポート

仲宗根俊平(SUN株式会社代表取締役社長兼CEO)  
佐藤美和(同社Connect事業本部) (上)

#### ▶ 5 解説・ニュースの焦点

##### ○青少年体験活動推進で10社を表彰

##### ○ICT支援員、7144人配置

編集部

#### ▶ 8 特集

##### 学校事故対応指針の改訂

編集部

#### ▶ 14 校長講話

##### 歴史と伝統を紡ぐ姉妹校

坂口幸恵(東京都・江戸川区立鹿本小学校元校長)

#### ▶ 16 実践！校長塾

##### 周年行事を学校経営に生かす①

松原 修(東京都・武蔵野市立第二小学校校長)

#### ▶ 19 資料

##### 「都立新国際高校(仮称)開校に向けた専門家 会議」議論のとりまとめ

都立新国際高校(仮称)開校に向けた専門家会議

#### ▶ 33 Voice

#### ▶ 35 教育問題法律相談

##### 外国語指導助手への指揮命令

佐藤香代(弁護士)

#### ▶ 36 学習指導要領のアイデアを実践する

##### 「次期教育振興基本計画」から考える⑧

玉置 崇(岐阜聖徳学園大学教育学部教授)

#### ▶ 38 私たち、子どもの全力サポーター！

##### 「自死」の伝え方

大橋すみれ(公認心理師)

#### ▶ 40 地方議会から〈注目の質問ダイジェスト〉

##### 部活動の地域移行③

編集部

#### ▶ 42 変わる教育委員会

##### 世界とつながる「ましこの人」の

##### 育成を目指して②

保坂敦子(栃木県・益子町教育委員会指導主事)

#### ▶ 44 現場仕込みのメンタルケア論

##### 「それもまたよし」

川上康則(東京都・杉並区立清美養護学校主任教諭)

#### ▶ 46 こう進める！保護者・家庭との連携

##### 校則の見直しは保護者も巻き込んで

長島ともこ(フリーライター・エディター)

#### ▶ 47 BOOK

##### 『その「一言」が子どもの脳をダメにする』

##### 『ことば、身体、学び』

「できるようになる」とはどういうことか」

#### ▶ 48 自著を語る

##### 『イエナプラン教育を取り入れた自由進度学習』

##### クラスでトライしてみる「ブロックアワー」』

岩本 歩(名古屋市教育局「新しい学校づくり推進室」指導主事)

#### ▶ 51 データで見る教育

##### 都道府県が実施した理想的な高校規模に

##### 関するアンケート結果の例 ほか

#### ▶ 52 マイオピニオン

##### 学校行事の価値

清水弘美(創価大学非常勤講師)

# 潮流

SUN株式会社代表取締役社長兼CEO

なかそねしゅんぺい  
仲宗根俊平さん

同社Connect事業本部

さとうみわ  
佐藤美和さんに聞く①



撮影：(株)オウル、李春湖

**仲宗根俊平** 1983年、大分県日田市生まれ。大学卒業後、保険業と広告業の営業を経験、2012年にIT業界に転職。2018年にSUN株式会社を設立。ITを軸として世界に社会貢献をすることを目標に掲げ、現在は在留外国人支援事業を推進。

## ICTで日本語 指導のサポート

外国人の日本語学習のサポートのため  
専用のアプリを開発した。

高校での試験導人が昨年末から始まり、  
外国にルーツのある生徒の学習に活用されている。

### 外国人の日本語学習サポートに課題

— SUN株式会社を設立された経緯は。

仲宗根 私たちは「世界を代表する『人と人をつなぐ』会社となる」ことを理念に2018年8月に設立しました。システムインテグレーション事業や在留外国人支援事業をメインに展開しているIT企業です。社員の国籍も6カ国に及び、日本のほかにバングラデシュにも拠点があります。最近では、日本国内で働いたり学んだりする外国人が増えています。日本、日本語学習をサポートする体制が弱いのが現状で、例えば、外国人のための日本語教育を支援する国の予算を見ても、ドイツなどと比べると桁違いに少ないのです。ですからIT企業として、こうした日本で生活している外国人の日本語学習をサポートするツールを提供したいと考えて、日本語学習アプリ「くらしスタディ」を開発しました。国内だけでなく、すでに世界19カ国で多くの日本語学習者にも利用していただいています。また、日本語教育のプロである佐藤美和を社員に迎えて、プロジェクトを進めてきました。

「くらしスタディ」は、物語や表現、文型、



**佐藤美和** SUN株式会社のConnect事業本部に所属。東京都教育庁と連携し、都立飛鳥高等学校に日本語学習アプリ「くらしスタディ」を提供するプロジェクトに参加。日本語教師の資格を持ち、「くらしスタディ」の企画、カリキュラムと教材作成も担当。

導入をされました。佐藤 東京都教育庁を通して、高校の現場に伺いました。年度末からの試験導入ということで、現場で受け入れていただけるかが不安でしたが、日本語学習を頑張っている生徒たちのためになるのであればと歓迎していただきました。飛鳥高等

問題を解くなど、多様なストーリーで日本語の自立学習をサポートしたものです（写真）。かな表示と漢字表示の切り替えや翻訳ボタン、ドリル、充実した音声などが特徴になっています。

——企業や団体向けの日本語学習をサポートするツールも開発されていますね。

仲宗根 企業や団体向けには、「くらしスタディ はなすプラス」という日本語学習サービスを昨年12月から提供しています。デジタル教材（アプリ）、オンラインレッスン、

## 東京都内の高校に試験導入

学習進捗管理システムがセットになったサービスで、会話に特化しながら日本語の基礎力アップを目指しています。学習履歴や習熟度レッスンへの参加率など、「受けて終わり」でなくて、学習の状況や成果を毎月、報告書に自動出力する機能もあり、管理担当者の労力を削減できるようにしています。

——今回、東京都立飛鳥高等学校の定時制で、外国にルーツのある生徒さんのサポートのためのアプリの試験導入をされました。



学校は以前から外国にルーツのある生徒のための日本語指導が続けられていますが、先生方が熱心に生徒をサポートされていることに感銘を受けました。

私たちの提供するアプリは、教科学習のための日本語ではなくて、生活のための日本語の基礎を学ぶことを目的としたものですが、

生徒が日常生活の中で困っていることを先生に相談できるような関係づくりにも役立ててほしいと思います。

——アプリ「くらしスタデイ」は、日本語指導とICT活用を組み合わせている点に特徴がありますね。

**仲宗根** 高校での日本語指導に関する検討会議の報告を受けて、文部科学省は令和3年度予算でも「日本語指導補助者や支援員の充実に資する」とともに、ICTの活用など指導・支援体制の工夫を図ることにより、効率的に指導・支援を行うことが必要不可欠」と指摘しています。今回、試験導入したアプリ「くらしスタデイ」には、文法解説、音声教材、単語帳、ドリルなどの教材も統合されている点に特徴があります。日本語指導の経験が浅い教員であっても、アプリの画面に従って授業を進めることで、日本語能力試験（JLPT）の「N5」から「N2」レベルの日本語を指導できます。今後は、飛鳥高等学校に限らず、日本語指導に取り組んでいる学校で、「くらしスタデイ」の活用による日本語指導の環境整備について、提案していきたいと考えています。

## 生徒の強み・弱み確認し指導に生かす

——実際の高校現場での日本語指導に生かす具体例としては、どのようなことが考えられますか。

**佐藤** 「くらしスタデイ」そのものは、学校での教科学習をサポートするものではありませんが、飛鳥高等学校では、「くらしスタデイ」はなすプラス」を試験導入したことで、生徒個人の学習履歴などが分析できて指導に活用できるようになりました。例えば、練習問題の正解率などのデータを分析することで、一人一人の生徒に対して、「この生徒は漢字には強いが、語彙の理解や読解に弱点がある」など、その生徒の強みや弱みを確認して、それに対応した指導を進めていくことができます。生徒の学習状況やその評価ができる点が「くらしスタデイ はなすプラス」のメリットだと思います。なお、「くらしスタデイ」そのものは、スマートフォンのアプリとして、無償でダウンロードできますので、日本語指導に取り組んでいる学校関係者や教育委員会の方などに、お試して使っていただけます。

——学校での働き方改革に生かす方法も考

えられますか。

**仲宗根** そもそも学校の先生方はお忙しいですから、こうしたアプリの導入によって、業務が効率化し、作業が軽減化されることが大前提です。文科省の検討会議の報告のように、それこそ「効率的に指導・支援を行うことが必要不可欠」です。また、学校現場にはさまざまな支援員や外部からの講師などがサポートしていますが、1年間だけの短い付き合いだと、学校側にノウハウがなかなか蓄積しないという問題があるように感じています。私たち民間の企業も、学校現場への支援を中・長期的な目標を持って継続していくことで、学校もまた経験が蓄積していくような付き合い方ができればと考えています。

SUN株式会社 || <https://www.sun21.co.jp/>

「くらしスタデイ」公式サイト  
ト || <https://kurashi-study.net/>

